

る。羊鑑の発行又熱烈。之本字亦を提出する理由あり。

△本字亦の発行と其の豫算

以運動史は大正十二年末迄を第一編として発行し、以後五

年乃至十年毎に次編を漸次発行する事

四六版ポイント活字約三百頁 三十部

此ノ印刷製本費 千貳百円

編輯品 參百円

雜費 五十円

出版費合計 千五百五十円

一節。賣價六十銭トシ二千五百部 千五百五十円

（備考）編輯品手当り不足又は発行部数、減少

等より經費不足の時、賣價を八十銭迄値上げ

する事を得る。他体裁を損せざる廣告料によ

て之を補小事を得る。

(四) 年鑑は毎年一回之を發行する事

四六版ポイント活字約百五十頁 二千部

此の發行費 五百円

（部）賣價金四十銭 千八百部 七百貳拾円

六 農民組合に對する態度

（関東労働同盟會提出）

△理由

資本主義制度の根本的壞滅を目的として起る無